

平成30年度 東京大学2次試験前期日程(数学問題)100分  
文科(一類, 二類, 三類) 数I・II・A・B

1 座標平面上に放物線  $C$  を

$$y = x^2 - 3x + 4$$

で定め, 領域  $D$  を

$$y \geq x^2 - 3x + 4$$

で定める. 原点をとる2直線  $l, m$  は  $C$  に接するものとする.

- (1) 放物線  $C$  上を動く点  $A$  と直線  $l, m$  の距離をそれぞれ  $L, M$  とする.  
 $\sqrt{L} + \sqrt{M}$  が最小値をとるときの点  $A$  の座標を求めよ.
- (2) 次の条件をみたす点  $P(p, q)$  の動きうる範囲を求め, 座標平面上に図示せよ.

条件: 領域  $D$  のすべての点  $(x, y)$  に対し不等式  $px + qy \leq 0$  がなりたつ.

2 数列  $a_1, a_2, \dots$  を

$$a_n = \frac{{}^{2n}C_n}{n!} \quad (n = 1, 2, \dots)$$

で定める.

- (1)  $a_7$  と 1 の大小を調べよ.
- (2)  $n \geq 2$  とする.  $\frac{a_n}{a_{n-1}} < 1$  をみたす  $n$  の範囲を求めよ.
- (3)  $a_n$  が整数となる  $n \geq 1$  をすべて求めよ.

3  $a > 0$  とし,

$$f(x) = x^3 - 3a^2x$$

とおく.

- (1)  $x \geq 1$  で  $f(x)$  が単調に増加するための,  $a$  についての条件を求めよ.
- (2) 次の2条件をみたす点  $(a, b)$  の動きうる範囲を求め, 座標平面上に図示せよ.

条件1: 方程式  $f(x) = b$  は相異なる3実数解をもつ.

条件2: さらに, 方程式  $f(x) = b$  の解を  $\alpha < \beta < \gamma$  とすると  $\beta > 1$  である.

4 放物線  $y = x^2$  のうち  $-1 \leq x \leq 1$  をみたす部分を  $C$  とする. 座標平面上の原点  $O$  と点  $A(1, 0)$  を考える.

(1) 点  $P$  が  $C$  上を動くとき,

$$\overrightarrow{OQ} = 2\overrightarrow{OP}$$

をみたす点  $Q$  の軌跡を求めよ.

(2) 点  $P$  が  $C$  上を動き, 点  $R$  が線分  $OA$  上を動くとき,

$$\overrightarrow{OS} = 2\overrightarrow{OP} + \overrightarrow{OR}$$

をみたす点  $S$  が動く領域を座標平面上に図示し, その面積を求めよ.

## 解答例

$$\boxed{1} \quad (1) \quad C: y = x^2 - 3x + 4 \text{ より } y' = 2x - 3$$

$C$  上の点  $(t, t^2 - 3t + 4)$  における接線の方程式は

$$y - (t^2 - 3t + 4) = (2t - 3)(x - t) \quad \text{ゆえに} \quad y = (2t - 3)x - t^2 + 4$$

この接線が原点を通るとき  $-t^2 + 4 = 0$  これを解いて  $t = \pm 2$

したがって、2直線  $l, m$  の方程式は  $x - y = 0, 7x + y = 0$

$C$  上の点  $A$  の座標を  $(a, a^2 - 3a + 4)$  とすると

$$\begin{aligned} \sqrt{L} + \sqrt{M} &= \sqrt{\frac{|a - (a^2 - 3a + 4)|}{\sqrt{2}}} + \sqrt{\frac{|7a + (a^2 - 3a + 4)|}{5\sqrt{2}}} \\ &= \frac{1}{\sqrt{5}\sqrt{2}}(\sqrt{5}|a - 2| + |a + 2|) \end{aligned}$$

$$\text{このとき } \sqrt{5}|a - 2| + |a + 2| = \begin{cases} -(1 + \sqrt{5})a - 2 + 2\sqrt{5} & (a < -2) \\ (1 - \sqrt{5})a + 2 + 2\sqrt{5} & (-2 \leq a \leq 2) \\ (1 + \sqrt{5})a + 2 - 2\sqrt{5} & (2 < a) \end{cases}$$

したがって、 $\sqrt{L} + \sqrt{M}$  が最小となるのは、 $-2 \leq a \leq 2$  の範囲であり、 $a = 2$  のときである。このとき、点  $A$  の座標は  $(2, 2)$

(2) 領域  $D$  内の点  $(x, y)$  に対して、 $\vec{OX} = (x, y)$  とすると

$$px + qy = \vec{OP} \cdot \vec{OX} \leq 0 \quad \dots (*)$$

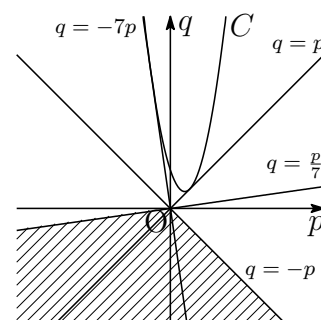
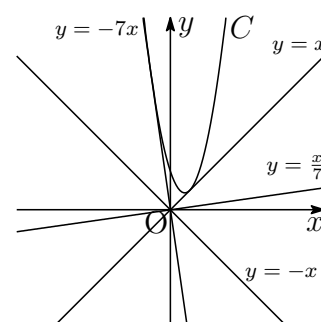
$l, m$  に垂直な2直線は

$$y = -x, \quad y = \frac{x}{7}$$

(\*) を満たす点  $P(p, q)$  は

$$\begin{cases} q \leq -p \\ q \leq \frac{p}{7} \end{cases}$$

よって、その領域は、右の図の斜線部分である。ただし、境界線を含む。



$$\boxed{2} \quad (1) \quad a_n = \frac{{}^{2n}C_n}{n!} \text{ より } (n = 1, 2, \dots)$$

$$\begin{aligned} a_7 &= \frac{{}^{14}C_7}{7!} = \frac{14 \cdot 13 \cdot 12 \cdot 11 \cdot 10 \cdot 9 \cdot 8}{(7!)^2} = \frac{2^4 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \times 13 \cdot 11 \cdot 9}{(7!)^2} \\ &= \frac{2^4 \cdot 13 \cdot 11 \cdot 9}{3! \cdot 7!} = \frac{13 \cdot 11}{7 \cdot 6 \cdot 5} = \frac{143}{210} < 1 \end{aligned}$$

$$(2) \quad a_n = \frac{{}^{2n}C_n}{n!} = \frac{(2n)!}{(n!)^3} \text{ より } (n = 1, 2, \dots)$$

$$\frac{a_n}{a_{n-1}} = \frac{(2n)!}{(n!)^3} \cdot \frac{\{(n-1)!\}^3}{(2n-2)!} = \frac{2n(2n-1)}{n^3} = \frac{2(2n-1)}{n^2}$$

$$\text{ゆえに } 1 - \frac{a_n}{a_{n-1}} = 1 - \frac{2(2n-1)}{n^2} = \frac{(n-2)^2 - 2}{n^2} > 0$$

上式をみたす  $n$  の値の範囲は  $n \geq 4$

$$(3) \quad a_1 = \frac{{}^2C_1}{1!} = 2, \quad a_2 = \frac{{}^4C_2}{2!} = 3,$$

$$\text{また } a_3 = \frac{6!}{(3!)^3}, \quad a_4 = \frac{8!}{(4!)^3}, \quad a_5 = \frac{10!}{(5!)^3}, \quad a_6 = \frac{12!}{(6!)^3}$$

$a_3, a_4$  の既約分数は、その分母に素因数 3 がある。

$a_5, a_6$  の既約分数は、その分母に素因数 5 がある。

(1), (2) の結果から、 $n \geq 7$  のとき  $0 < a_n < 1$

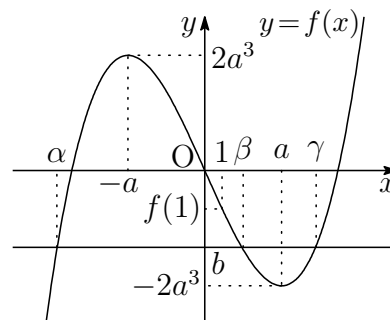
よって、 $a_n$  が整数となる  $n \geq 1$  は  $n = 1, 2$

3 (1)  $f(x) = x^3 - 3a^2x$  より

$$f'(x) = 3x^2 - 3a^2 = 3(x+a)(x-a)$$

$f(x)$  の増減表は

$x$	...	$-a$	...	$a$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	$2a^3$	↘	$-2a^3$	↗



$x \geq 1$  で  $f(x)$  が単調に増加するから、 $a > 0$  に注意して  $0 < a \leq 1$

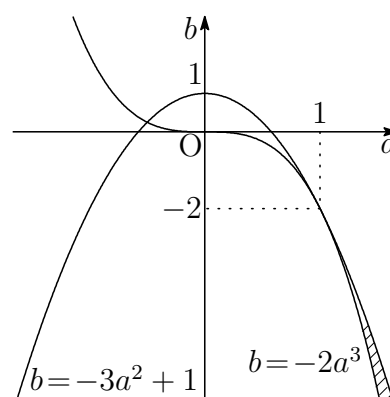
(2)  $f(x) = b$  の解  $\alpha < \beta < \gamma$  について、 $\beta > 1$  であるから、右上の図より

$$1 < a, \quad -2a^3 < b < f(1)$$

したがって

$$-2a^3 < b < -3a^2 + 1 \quad (a > 1)$$

点  $(a, b)$  の満たす領域は、右の図の斜線部分で、境界線を含まない。



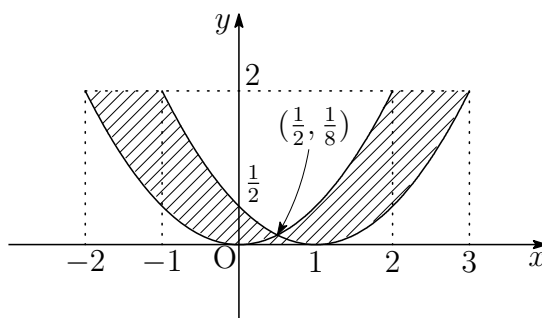
- 4 (1)  $C$  上の点  $P(t, t^2)$  に対して  $(-1 \leq t \leq 1)$ , 点  $Q(x, y)$  は,  $\vec{OQ} = 2\vec{OP}$  より

$$(x, y) = 2(t, t^2) \quad \text{ゆえに} \quad x = 2t, y = 2t^2$$

上の2式から  $t$  を消去すると  $y = \frac{x^2}{2} \quad (-2 \leq x \leq 2)$

- (2)  $\vec{OQ} = 2\vec{OP}$ ,  $\vec{OS} = 2\vec{OP} + \vec{OR}$  より  $\vec{OS} = \vec{OQ} + \vec{OR}$

したがって, 点  $S$  が動く領域は, (1) で求めた  $Q$  の軌跡を  $x$  軸方向に1だけ平行移動するとき描く図形であるから, 次の図の斜線部分である.

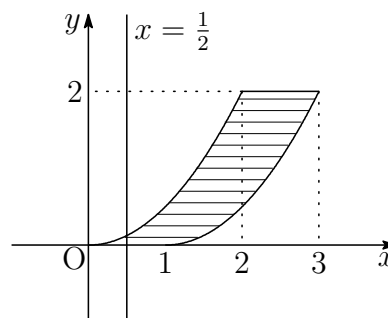


右の図の斜線部分の面積は, カバリエリの原理により

$$1 \cdot 2 = 2$$

斜線部分の  $0 \leq x \leq \frac{1}{2}$  における面積は

$$\int_0^{\frac{1}{2}} \frac{x^2}{2} dx = \left[ \frac{x^3}{6} \right]_0^{\frac{1}{2}} = \frac{1}{48}$$



図形は直線  $x = \frac{1}{2}$  に関して対称であるから, 求める図形の面積は

$$2 \left( 2 - \frac{1}{48} \right) = \frac{95}{24}$$